

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

腹水濾過濃縮再静注法（CART）における蛋白回収率の検討

2. 研究責任者

豊田厚生病院 診療協同部 臨床工学技術科 谷 亮太

3. 研究の背景・概要

腹水濾過濃縮再静注法（CART：Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy）とは、難治性腹水症患者の腹水を採取して濾過濃縮にて有用な蛋白成分を回収し、患者に戻す治療法です。この治療の目的は、大量の腹水（3～4L）を採取し、一時的に腹圧の軽減による患者さんのQOLの改善を図ることであり、アルブミン製剤の節減にもつながるため、多くの施設で施行されています。当院でも6年前から積極的にCARTを施行し、施行数は年々増加しています。CARTにおける濾過濃縮方法も様々な方法が検討されていますが、腹水の性状、濾過濃縮方法により蛋白回収率が異なり、大量に採取した腹水をどの程度まで濃縮すべきか明確な指針がないのが現状です。

4. 研究の目的・意義

- ①CARTにおける濾過濃縮後の適正量を明らかにすること
- ②CARTにおける蛋白回収率への影響を及ぼす因子を明らかにすること
- ③CARTの手技を統一化し、蛋白回収率の向上に繋げること

5. 研究の方法

2016年1月1日～2016年12月31日に難治性腹水症にてCARTを施行した試料を対象とし、CART施行における蛋白回収率に影響を及ぼす因子について検討します。

①対象となる患者さん

2014年1月1日～2016年12月31日までに難治性腹水症でCARTを施行した患者さん

②使用する資料等

電子カルテの情報を元に、下記の情報を調査します。

- 1) 腹水の性状・量、2) CART施行前の腹水中の総蛋白及びアルブミン濃度、3) CART施行後の濾過濃縮液中の総蛋白及びアルブミン濃度、4) 総蛋白及びアルブミンの回収率、5) 腹水の濾過濃縮方法

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：豊田厚生病院 診療協同部 臨床工学技術科 谷 亮太

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）